

管内保護林の再編案 (個別表)

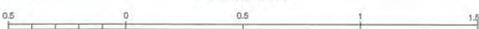
石鎚山系森林生態系保護地域 3葉の1 (愛媛・嶺北森林管理署管内)

面積：4,244.86ha

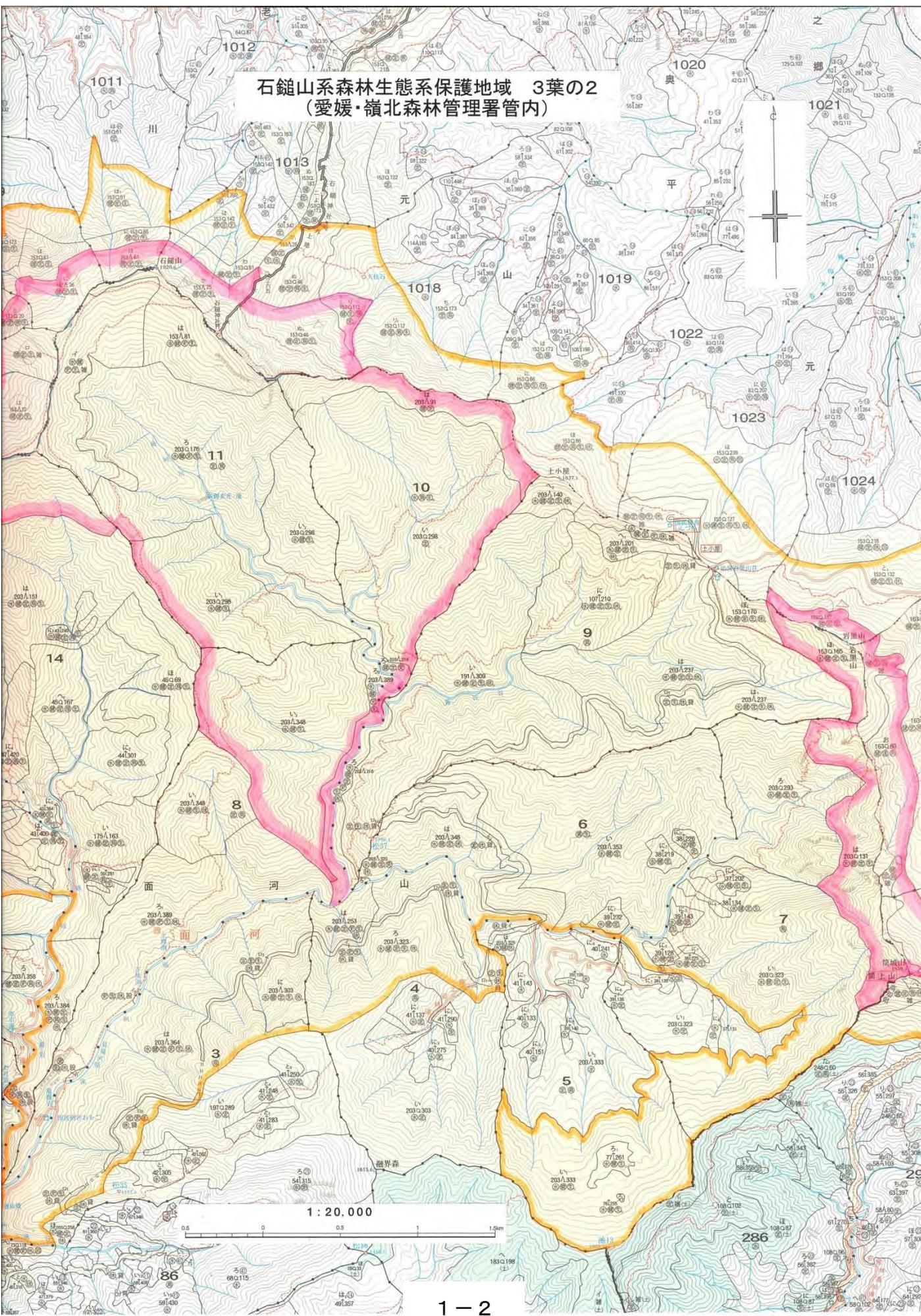
面河溪から石鎚山山頂(1,982m)まで標高差約1,300mの地域。暖温帯林、冷温帯林、亜寒帯林に至る植生の垂直分布を有する。多様性に富んだ南方系及び北方系の動植物が生息・生育する。

凡 例	
	保存地区
	保全利用地区

1 : 20,000

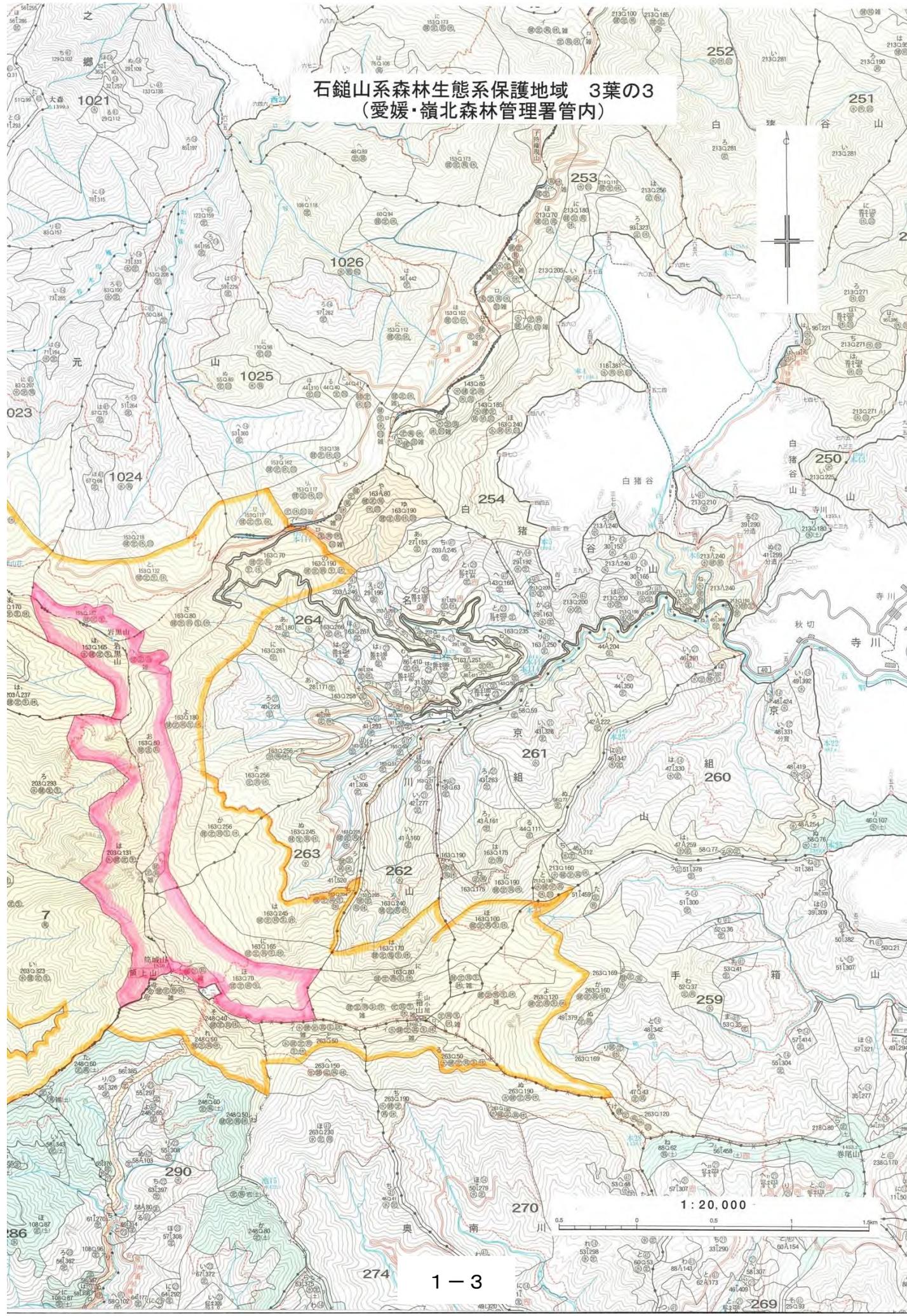


石鎚山系森林生態系保護地域 3葉の2
(愛媛・嶺北森林管理署管内)



1: 20, 000

石鎚山系森林生態系保護地域 3葉の3
(愛媛・嶺北森林管理署管内)



剣山植物群落保護林 (徳島森林管理署管内)



面積：446.01ha

祖谷川の河畔から剣山山頂(1,955m)まで標高差約900mの地域。冷温帯林から亜寒帯林まで、多様なタイプの植生が見られる天然林。

見直し案：剣山生物群集保護林

【理由】冷温帯のブナ林から亜寒帯のダケカンバ林まで多様な樹種からなる生物群集を保護するため。

1 : 20,000

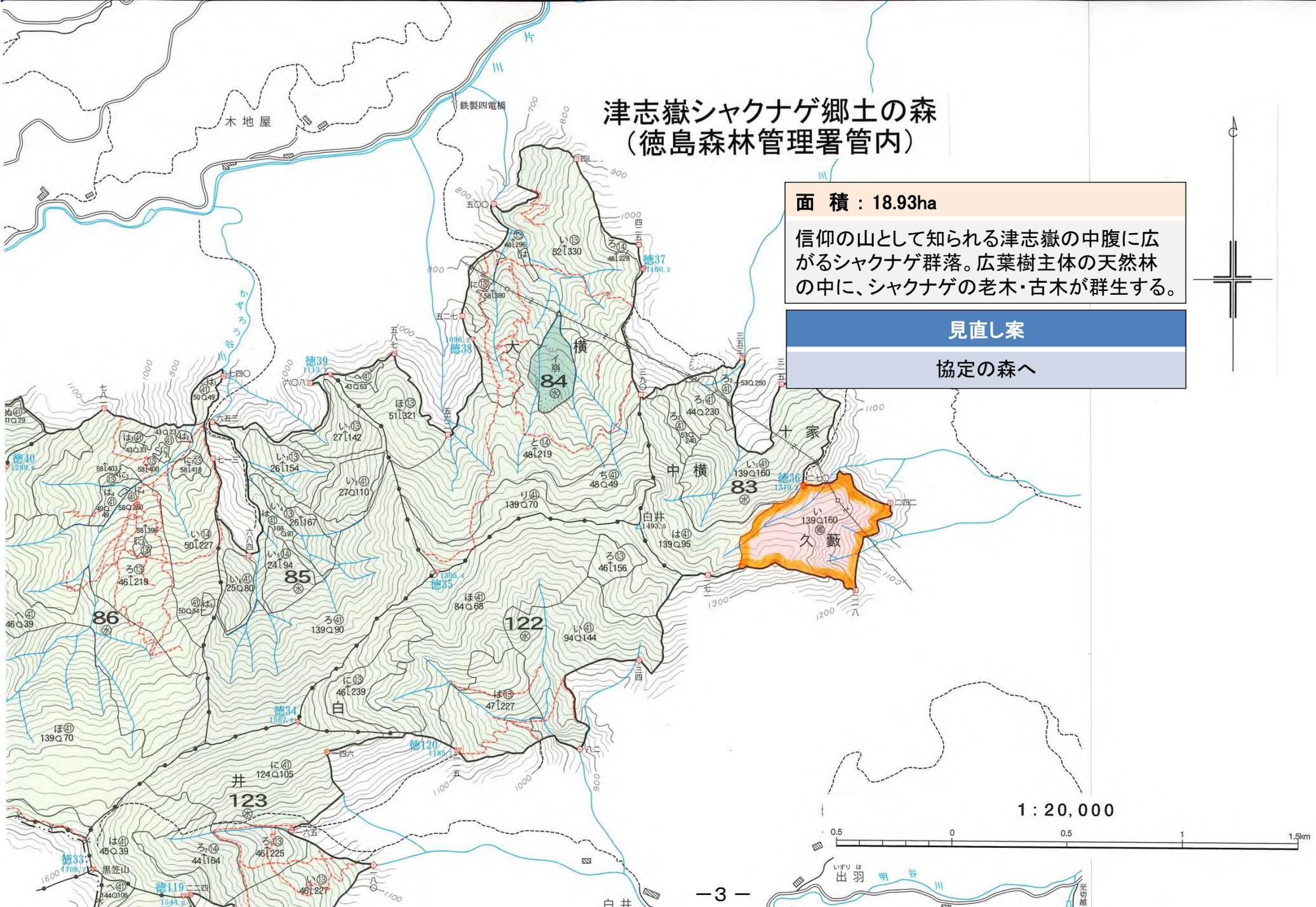
津志嶽シャクナゲ郷土の森 (徳島森林管理署管内)

面積：18.93ha

信仰の山として知られる津志嶽の中腹に広がるシャクナゲ群落。広葉樹主体の天然林の中に、シャクナゲの老木・古木が群生する。

見直し案

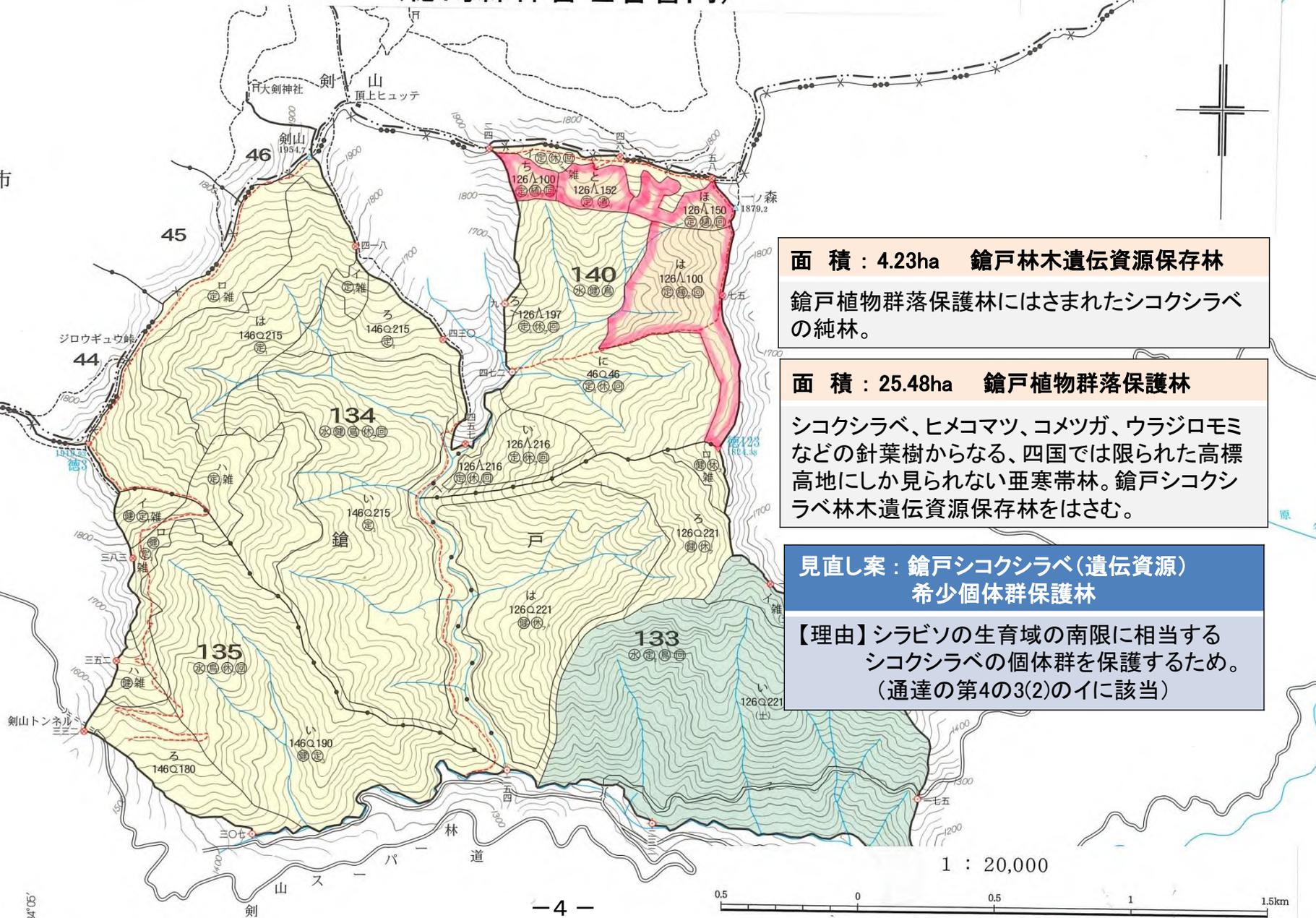
協定の森へ



鎗戸植物群落保護林・鎗戸シロクシラベ林木遺伝資源保存林 (徳島森林管理署管内)

内 2
度 樹 立

小 好 市
川 好 市

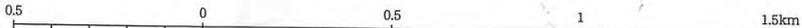


面積：4.23ha 鎗戸林木遺伝資源保存林
鎗戸植物群落保護林には含まれたシロクシラベの純林。

面積：25.48ha 鎗戸植物群落保護林
シロクシラベ、ヒメコマツ、コメツガ、ウラジロモミなどの針葉樹からなる、四国では限られた高標高地にしか見られない亜寒帯林。鎗戸シロクシラベ林木遺伝資源保存林をはさむ。

見直し案：鎗戸シロクシラベ(遺伝資源)希少個体群保護林
【理由】シラビソの生育域の南限に相当するシロクシラベの個体群を保護するため。(通達の第4の3(2)のイに該当)

1 : 20,000



小田深山ブナ林木遺伝資源保存林・小屋山ブナ林木遺伝資源保存林 (愛媛森林管理署管内)



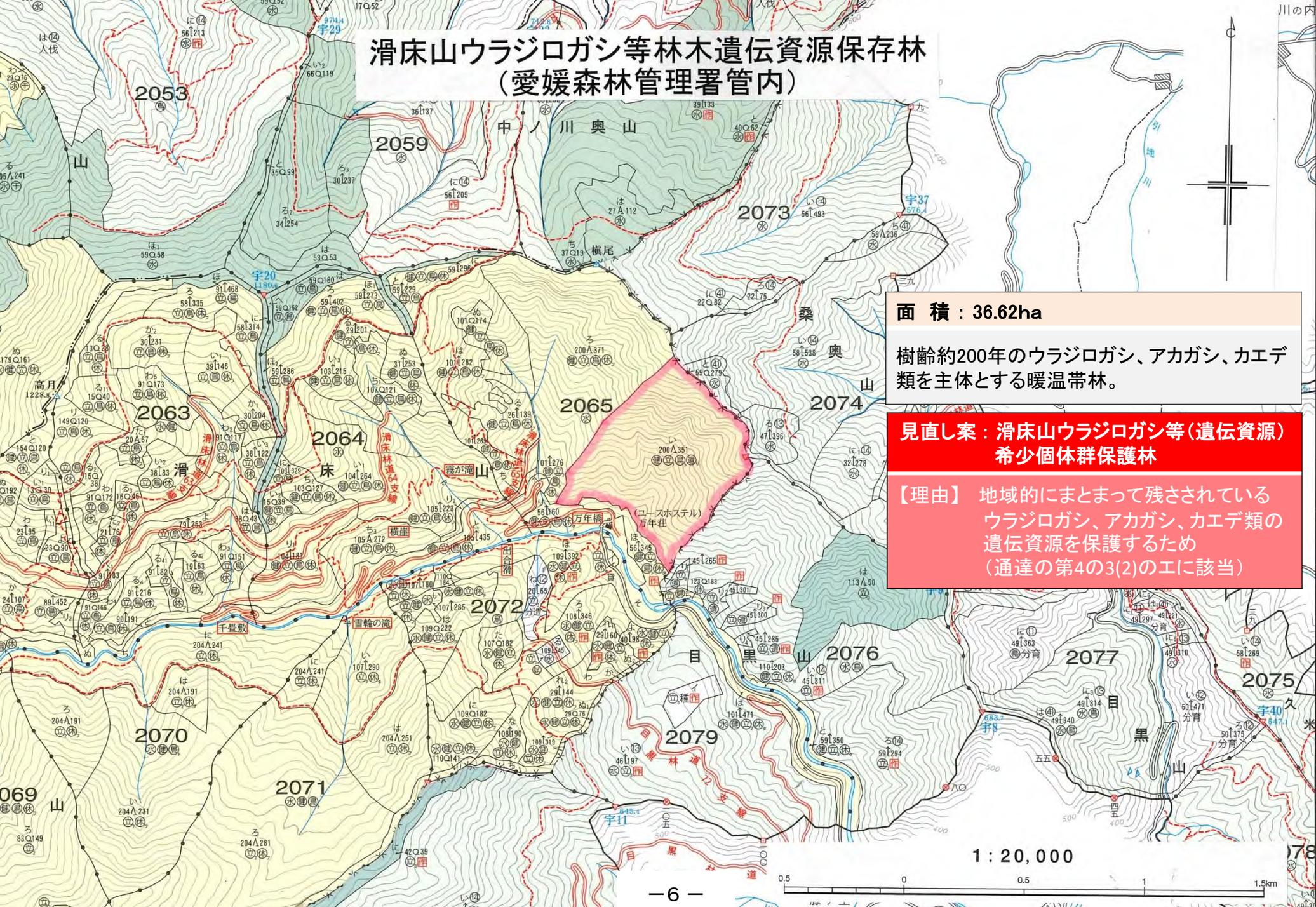
面積：6.60ha 小田深山
地域の代表的なブナの純林。小屋山ブナ林木遺伝資源保存林と隣接する。

面積：1.88ha 小屋山
地域の代表的なブナの純林。小田深山ブナ林木遺伝資源保存林に隣接する。

**見直し案：小田深山ブナ(遺伝資源)
希少個体群保護林**

【理由】 地域的にまとまって残されている原生のブナの遺伝資源を保護するため。
(通達の第4の3(2)のエに該当)

滑床山ウラジロガシ等林木遺伝資源保存林 (愛媛森林管理署管内)



面積 : 36.62ha

樹齢約200年のウラジロガシ、アカガシ、カエデ類を主体とする暖温帯林。

見直し案 : 滑床山ウラジロガシ等(遺伝資源)希少個体群保護林

【理由】 地域的にまとまって残されているウラジロガシ、アカガシ、カエデ類の遺伝資源を保護するため(通達の第4の3(2)のエに該当)

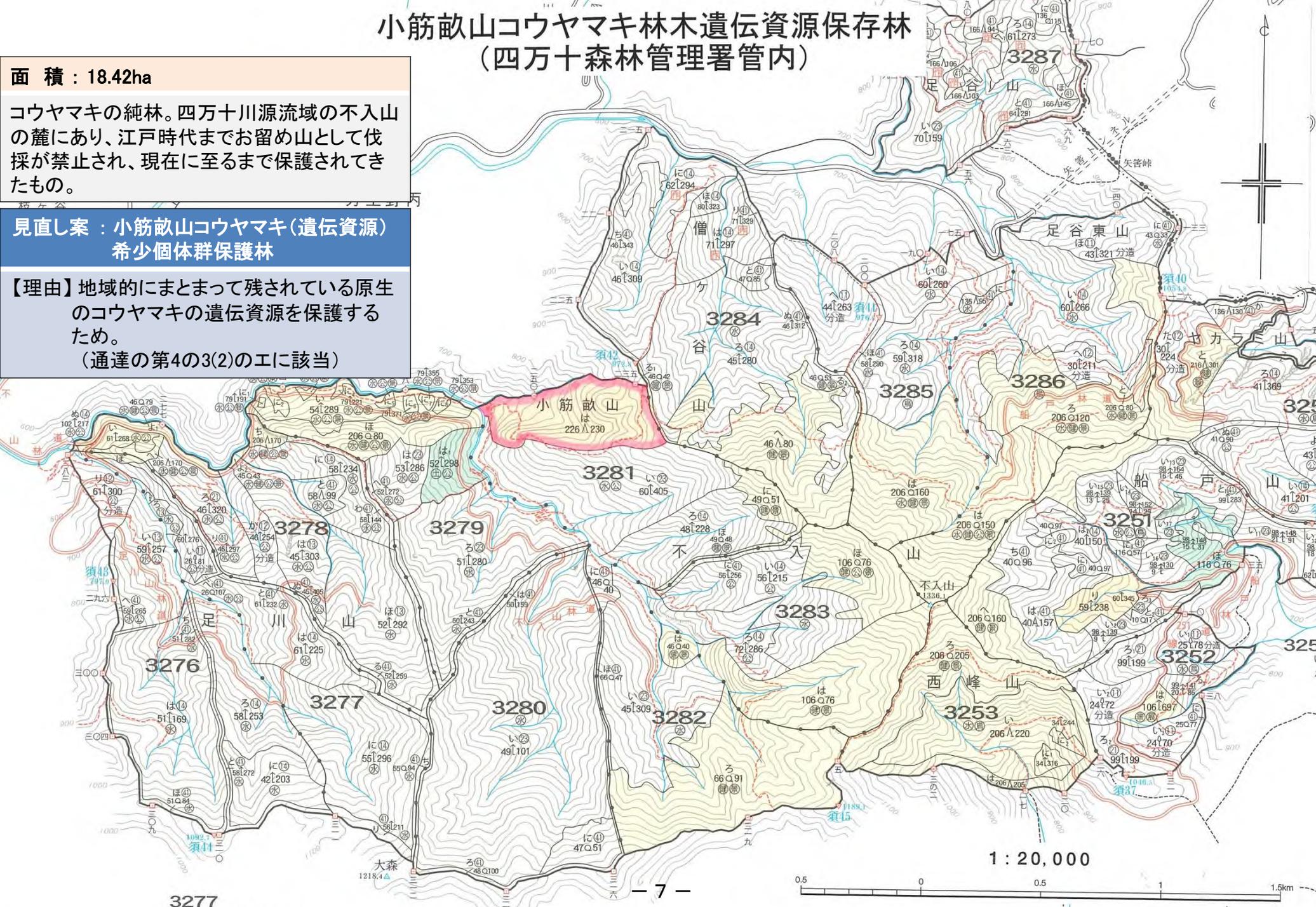
小筋畝山コウヤマキ林木遺伝資源保存林 (四万十森林管理署管内)

面積：18.42ha

コウヤマキの純林。四万十川流域の不入山の麓にあり、江戸時代までお留め山として伐採が禁止され、現在に至るまで保護されてきたもの。

見直し案：小筋畝山コウヤマキ(遺伝資源)
希少個体群保護林

【理由】地域的にまとまって残されている原生の
コウヤマキの遺伝資源を保護する
ため。
(通達の第4の3(2)のエに該当)



梶ヶ谷山モミ林木遺伝資源保存林・古屋山アカマツ林木遺伝資源保存林 (四万十森林管理署管内)

面積：8.88ha 古屋山（ち小班）

大道マツとして知られる優良なアカマツの天然林。梶ヶ谷山モミ林木遺伝資源保存林と尾根をはさんで隣接する。

見直し案：古屋山大道マツ(遺伝資源) 希少個体群保護林

【理由】特徴的な^{おうどう}大道マツの遺伝資源を保護するため。(大道マツの特徴：枝下高が高く、樹幹、木理とも通直)
(通達の第4の3(2)のエに該当)

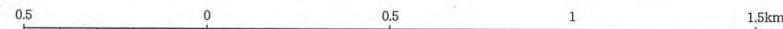
面積：8.51ha 梶ヶ谷山（に小班）

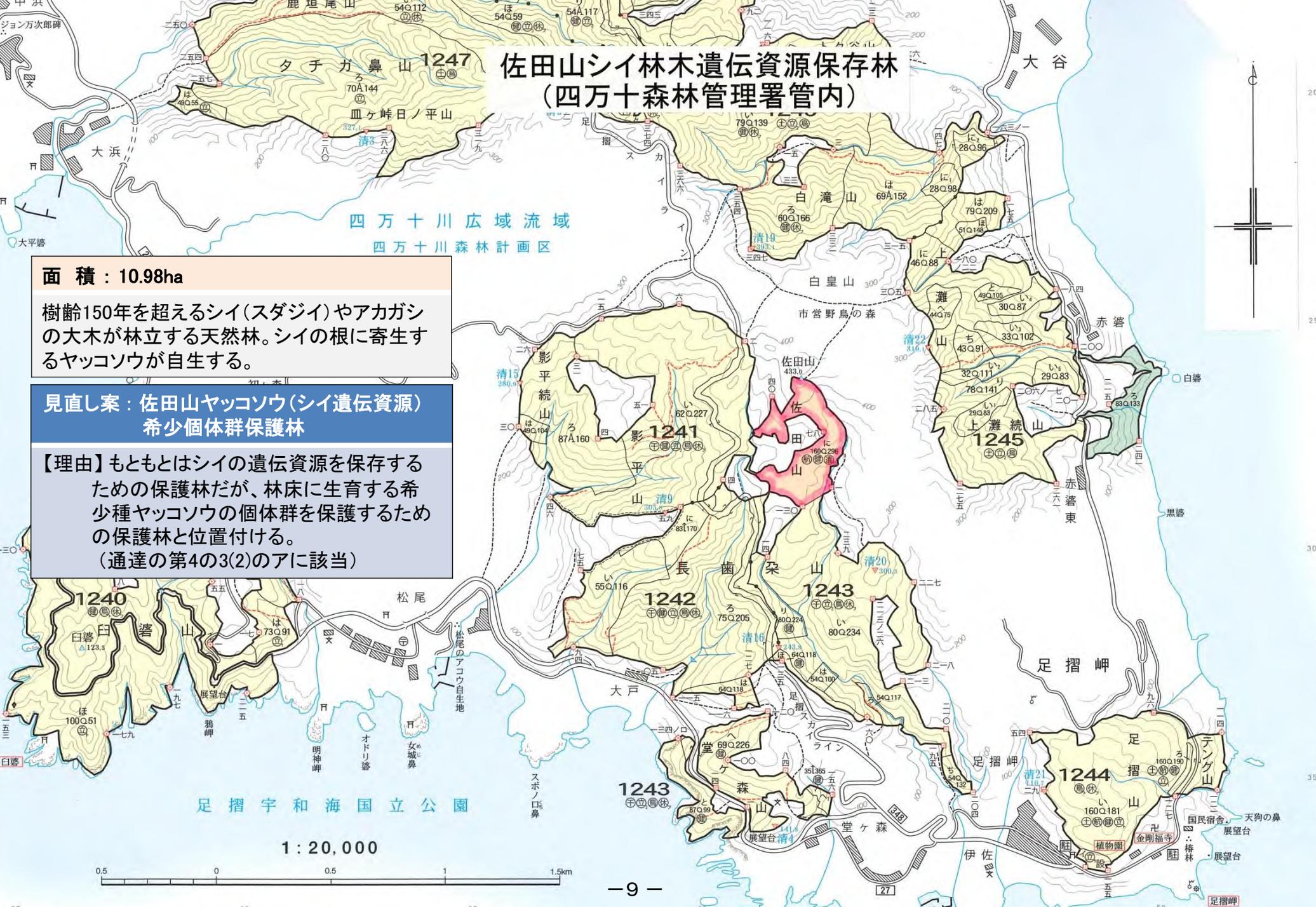
モミの巨木が林立する天然林。古屋山アカマツ林木遺伝資源保存林と尾根をはさんで隣接する。

見直し案：梶ヶ谷山モミ(遺伝資源) 希少個体群保護林

【理由】地域的にまとまって残されている原生のモミの遺伝資源を保護するため。
(通達の第4の3(2)のエに該当)

1 : 20,000





佐田山シイ林木遺伝資源保存林 (四万十森林管理署管内)

四万十川広域流域
四万十川森林計画区

面積：10.98ha

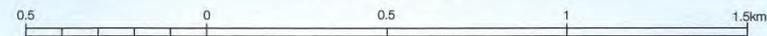
樹齢150年を超えるシイ(スダジイ)やアカガシの大木が林立する天然林。シイの根に寄生するヤッコソウが自生する。

見直し案：佐田山ヤッコソウ(シイ遺伝資源)希少個体群保護林

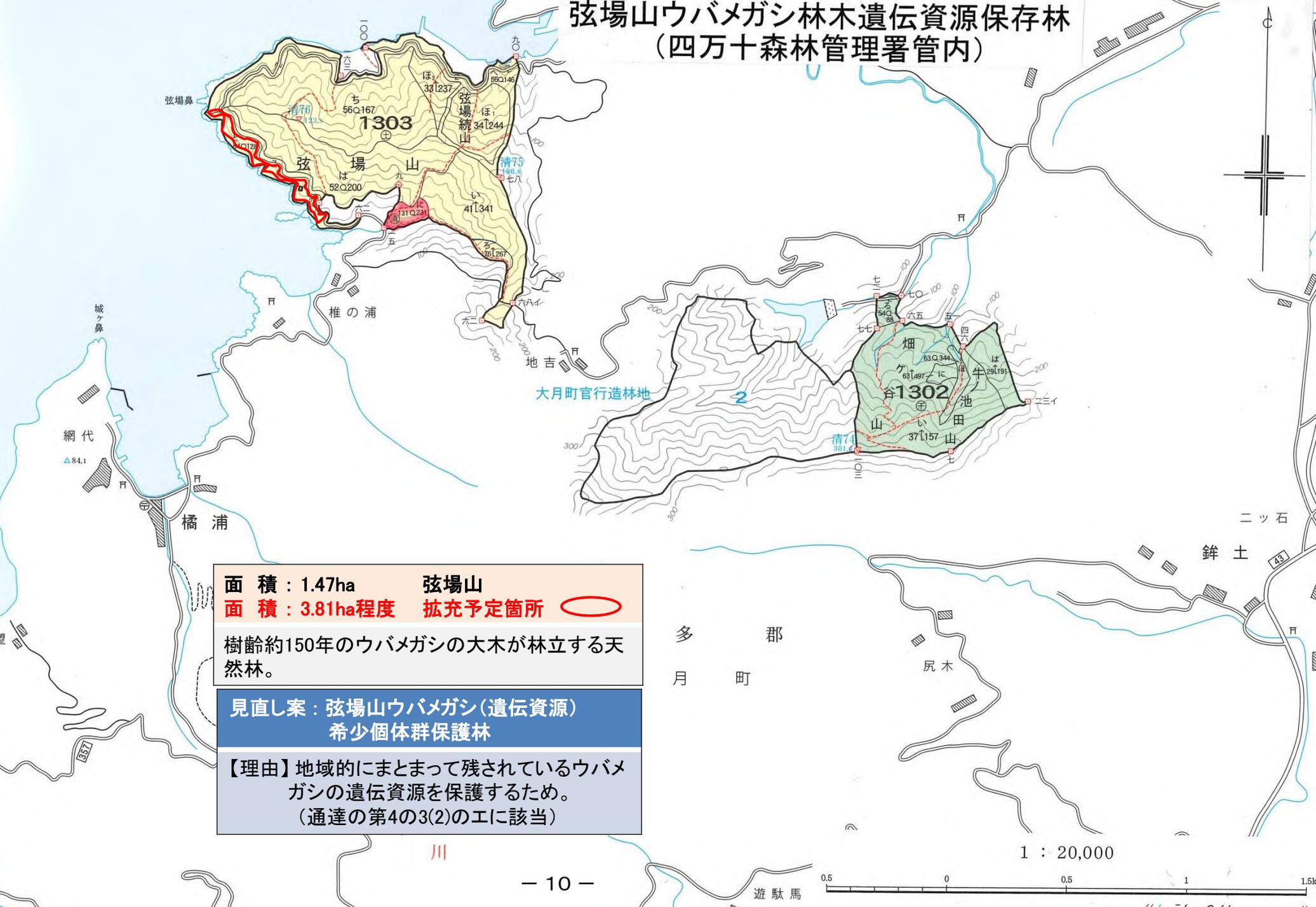
【理由】もともとはシイの遺伝資源を保存するための保護林だが、林床に生育する希少種ヤッコソウの個体群を保護するための保護林と位置付ける。
(通達の第4の3(2)のアに該当)

足摺宇和海国立公園

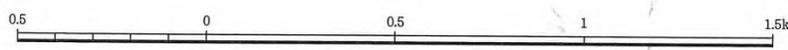
1 : 20,000



弦場山ウバメガシ林木遺伝資源保存林 (四万十森林管理署管内)



面積：1.47ha	弦場山
面積：3.81ha程度	拡充予定箇所 
樹齢約150年のウバメガシの大木が林立する天然林。	
見直し案：弦場山ウバメガシ(遺伝資源)希少個体群保護林	
【理由】地域的にまとまって残されているウバメガシの遺伝資源を保護するため。 (通達の第4の3(2)のエに該当)	



鷹取山植物群落保護林・ゆすはら郷土の森 (四万十森林管理署(大正)管内)

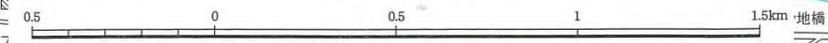


面積：87.97ha (鷹取山植物群落保護林)
 モミを主体とし、ツガ・ヒノキなどの針葉樹に混じって、アカガシ、スダジイ、ハウノキなどの広葉樹が生育する天然林。

面積：7.29ha (ゆすはら郷土の森)
 モミを主体に広葉樹が混交している林齢約200年の天然林。鷹取山植物群落保護林に隣接する。

**見直し案：鷹取山生物群集保護林
(郷土の森も統合)**
【理由】モミ・ツガ原生林の生物群集を保護するため

1 : 20,000



高岡郡
 栲原町
 栲原

西土佐郷土の森 (四万十森林管理署(川崎)管内)

面積：4.25ha

林齢約80年のスギ・ヒノキの人工林の中に、林齢約300年の天然ヒノキが群生している。

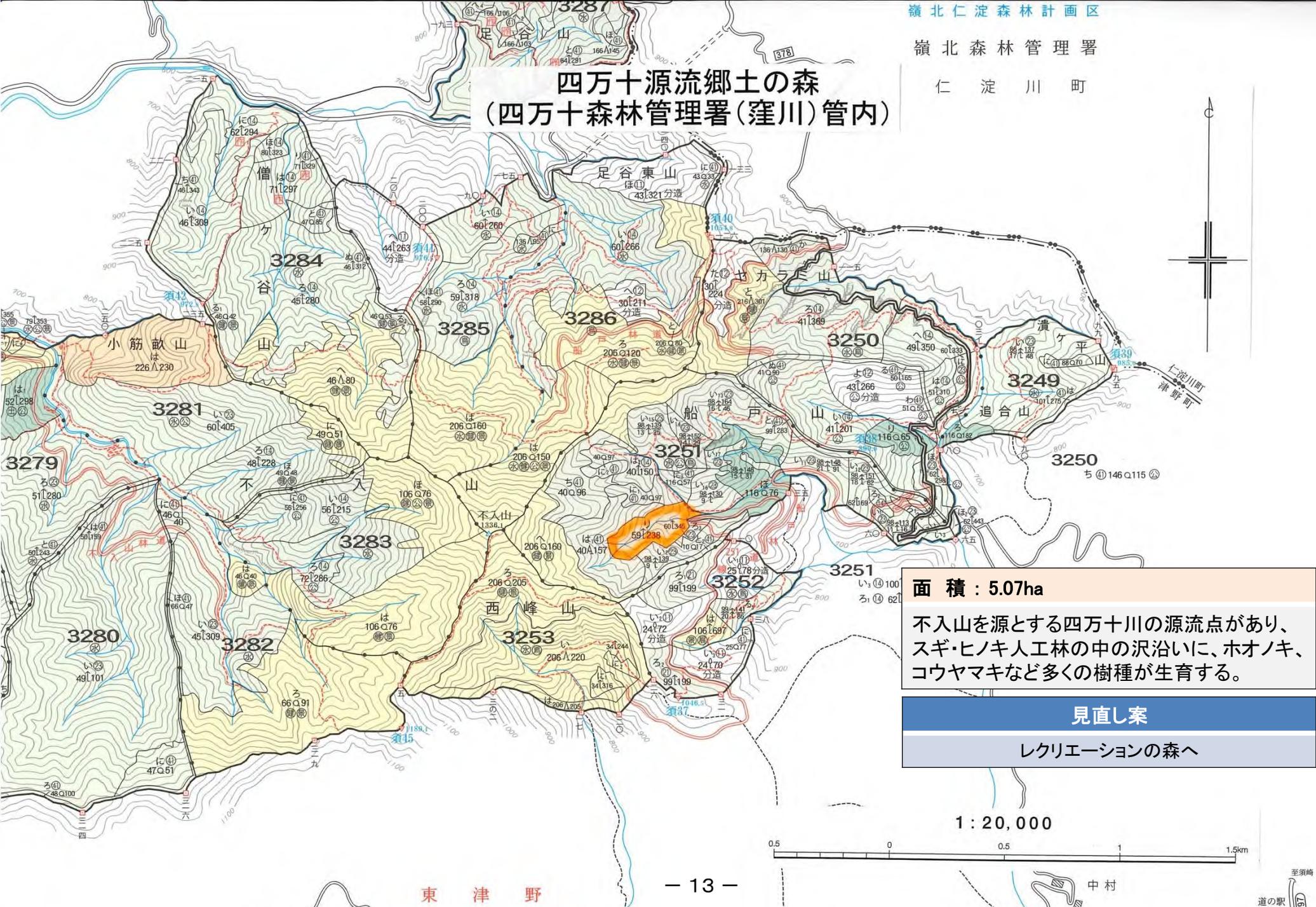
見直し案

協定の森へ

1 : 20,000

0.5 0 0.5 1 1.5km

四万十源流郷土の森 (四万十森林管理署(窪川)管内)



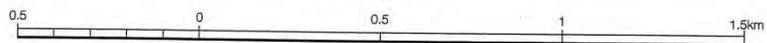
面積 : 5.07ha

不入山を源とする四万十川の源流点があり、スギ・ヒノキ人工林の中の沢沿いに、ホオノキ、コウヤマキなど多くの樹種が生育する。

見直し案

レクリエーションの森へ

1 : 20,000



白髪山天然ヒノキ林木遺伝資源保存林 (嶺北森林管理署管内)



面積：208.54ha 白髪山

蛇紋岩からなる地質のため広葉樹が発達せず、天然ヒノキが多く自生している。立ち枯れした白骨林や、ヒノキの根が「たこ足状」に広がった「根下がりヒノキ」(県指定天然記念物)が見られる。

**見直し案：白髪山天然ヒノキ(遺伝資源)
希少個体群保護林**

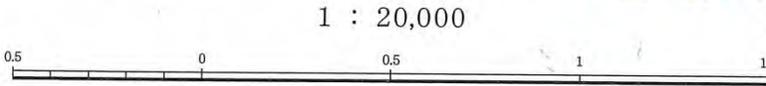
【理由】蛇紋岩上に自生する天然ヒノキの個体群を保護するため。
(通達の第4の3(2)のオに該当)

(地域のシンボルとして、ヒノキの白骨林や根下がりヒノキの保護林としてほしいという地元自治体の意向があるところ)

高知県指定天然記念物
(白髪山八反奈路根下がりヒノキ群生地)

(天然記念物の指定理由)

- ・白髪山南斜面「八反奈路」の蛇紋岩地に群生する「根下がりヒノキ」は、切り株や倒木の上で天然更新がなされたと考えられる、生態学上貴重な林相。
- ・隣接して、気候的極相であるブナ・ヒメシャラ群落や、谷部の湿潤地にケヤキ・チノキが優先する落陽広葉樹林の群落があり、これらはこの地域を特徴づける。



高知県・本山町竜王山郷土の森 (嶺北森林管理署(本山)管内)

面積：75.08ha

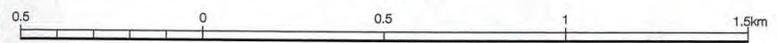
ブナ、トチノキ、ミズナラ等の広葉樹が生育する天然林。下層木としてシャクナゲ、アケボノツツジなども見られる。地質的に希少な「紅縹石」の大露頭が区域内に存在。

見直し案

協定の森へ

なお、保護林から外れることとなるため、保護林同士を連結して野生生物の移動経路を確保する「緑の回廊」に編入する。

1 : 20,000



西熊山植物群落保護林 (高知中部森林管理署管内)

森林管理署

子市
川広域
林計画



面積 : 478.99ha

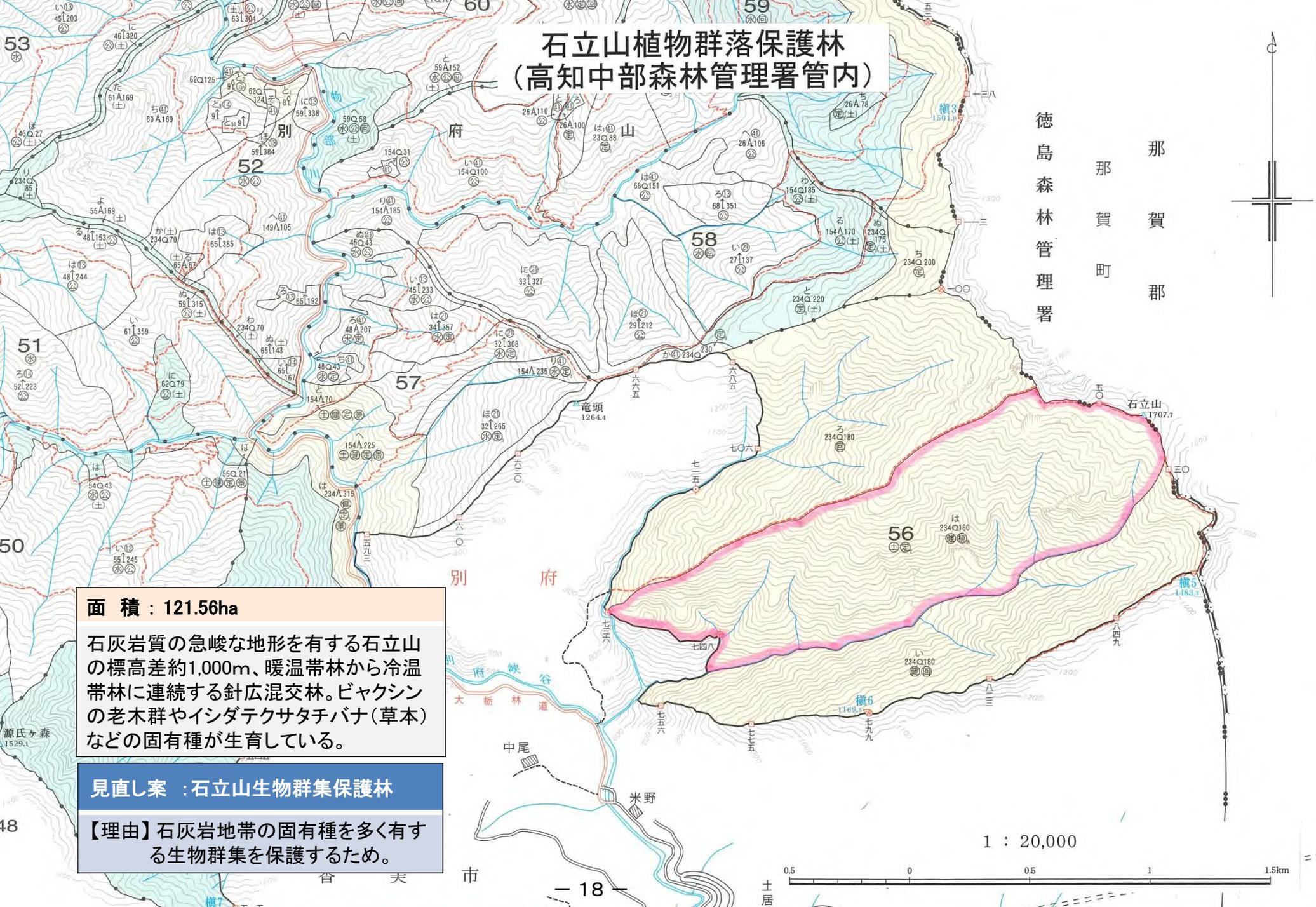
標高差約700m、暖温帯から冷温帯にかけて、モミ、ツガ、ブナ等の多様な樹種が連続して分布する天然林。

見直し案 : 西熊山生物群集保護林

【理由】 中間温帯のモミ・ツガ林から冷温帯のブナ林まで多様な樹種からなる生物群集を保護するため。

石立山植物群落保護林 (高知中部森林管理署管内)

徳島森林管理署
那賀郡
那賀町



面積：121.56ha

石灰岩質の急峻な地形を有する石立山の標高差約1,000m、暖温帯林から冷温帯林に連続する針広混交林。ビャクシンの老木群やイシダテクサタチバナ(草本)などの固有種が生育している。

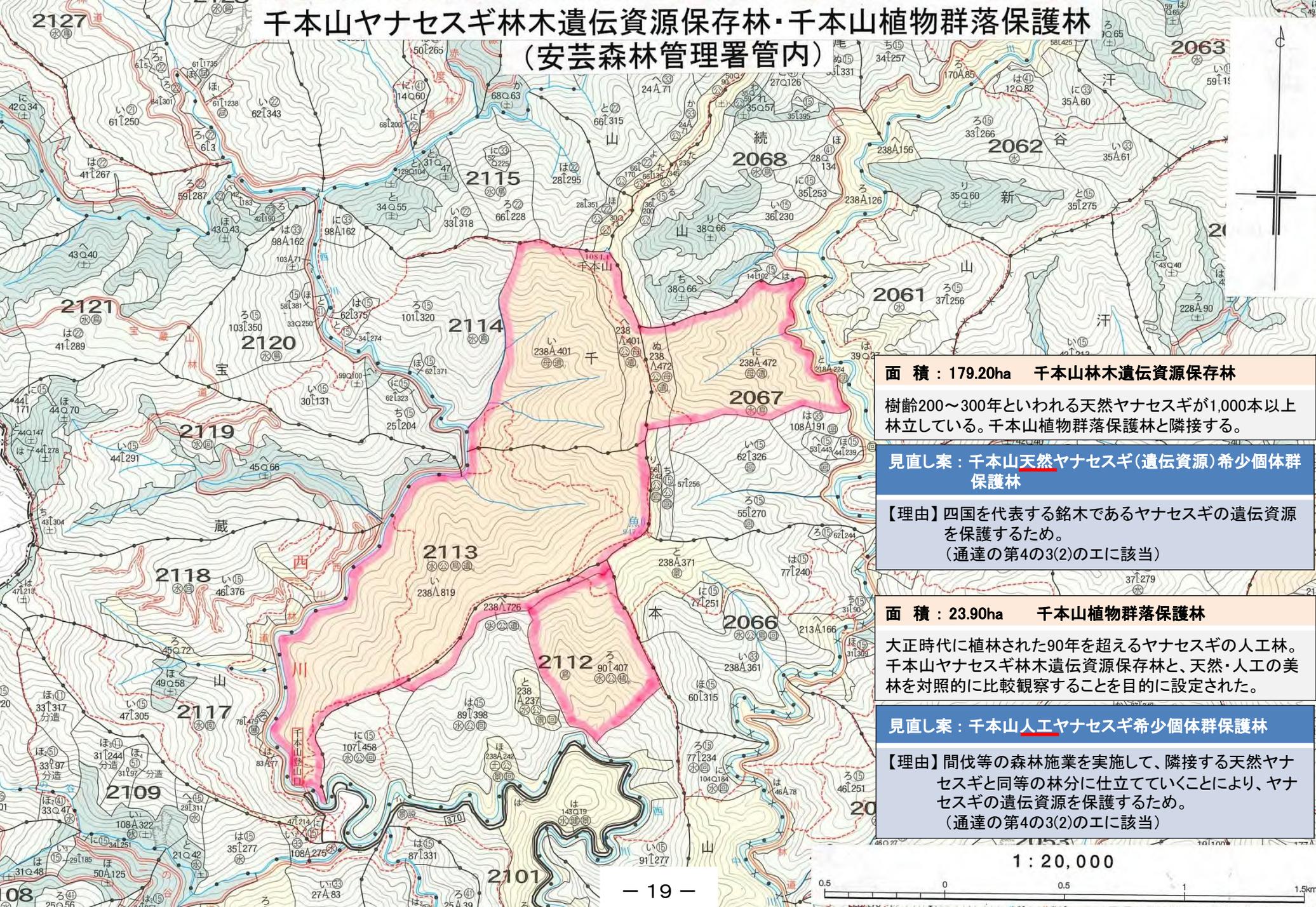
見直し案：石立山生物群集保護林

【理由】石灰岩地帯の固有種を多く有する生物群集を保護するため。

1 : 20,000



千本山ヤナセスギ林木遺伝資源保存林・千本山植物群落保護林 (安芸森林管理署管内)



面積：179.20ha 千本山林木遺伝資源保存林

樹齢200～300年といわれる天然ヤナセスギが1,000本以上林立している。千本山植物群落保護林と隣接する。

見直し案：千本山天然ヤナセスギ(遺伝資源)希少個体群保護林

【理由】 四国を代表する銘木であるヤナセスギの遺伝資源を保護するため。
(通達の第4の3(2)のエに該当)

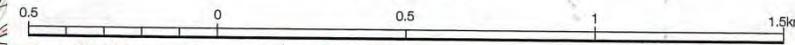
面積：23.90ha 千本山植物群落保護林

大正時代に植林された90年を超えるヤナセスギの人工林。千本山ヤナセスギ林木遺伝資源保存林と、天然・人工の美林を対照的に比較観察することを目的に設定された。

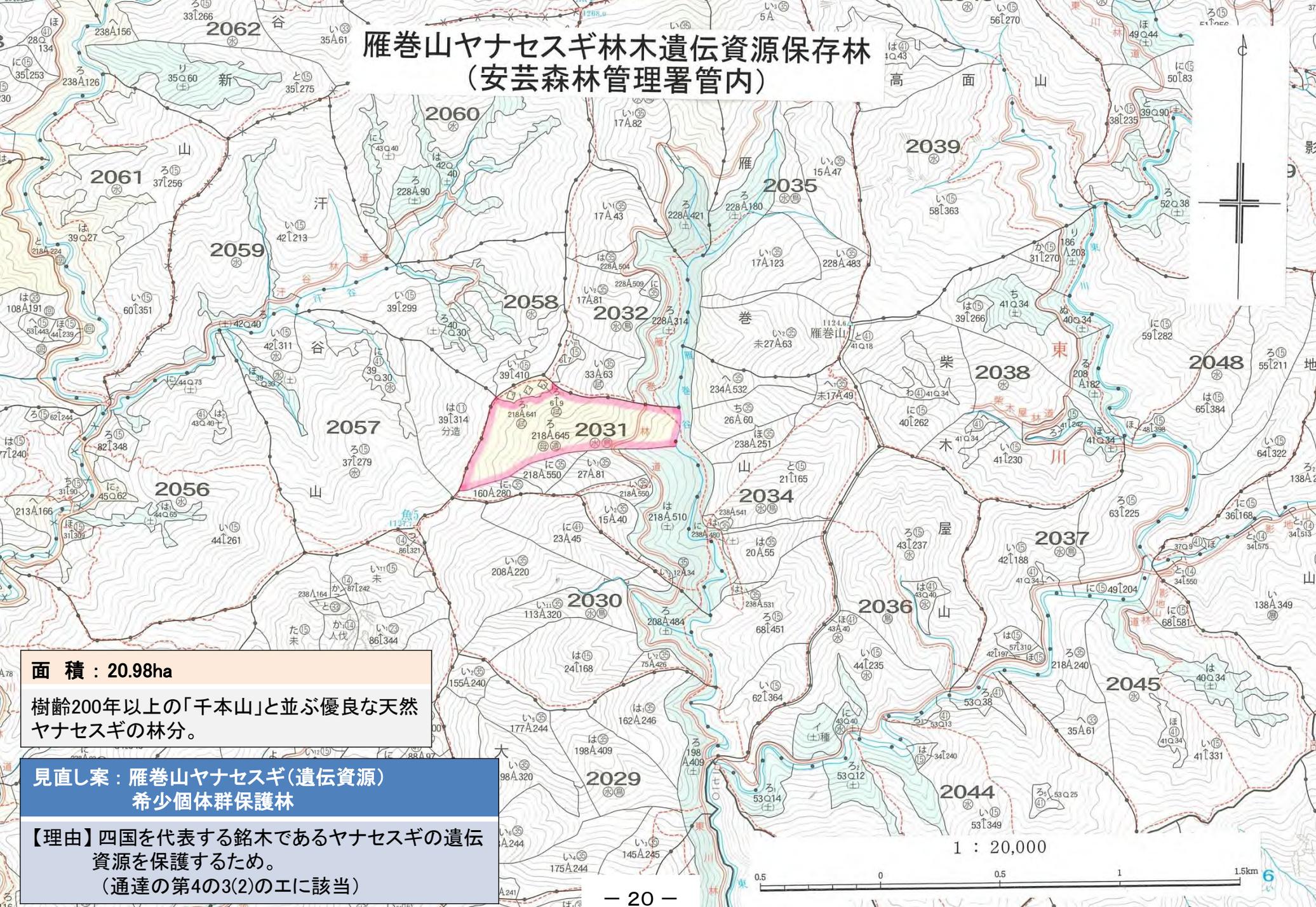
見直し案：千本山人工ヤナセスギ希少個体群保護林

【理由】 間伐等の森林施業を実施して、隣接する天然ヤナセスギと同等の林分に仕立てていくことにより、ヤナセスギの遺伝資源を保護するため。
(通達の第4の3(2)のエに該当)

1 : 20,000



雁巻山ヤナセスギ林木遺伝資源保存林 (安芸森林管理署管内)



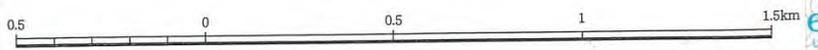
面積：20.98ha

樹齢200年以上の「千本山」と並ぶ優良な天然ヤナセスギの林分。

見直し案：雁巻山ヤナセスギ(遺伝資源)希少個体群保護林

【理由】四国を代表する銘木であるヤナセスギの遺伝資源を保護するため。
(通達の第4の3(2)のエに該当)

1 : 20,000



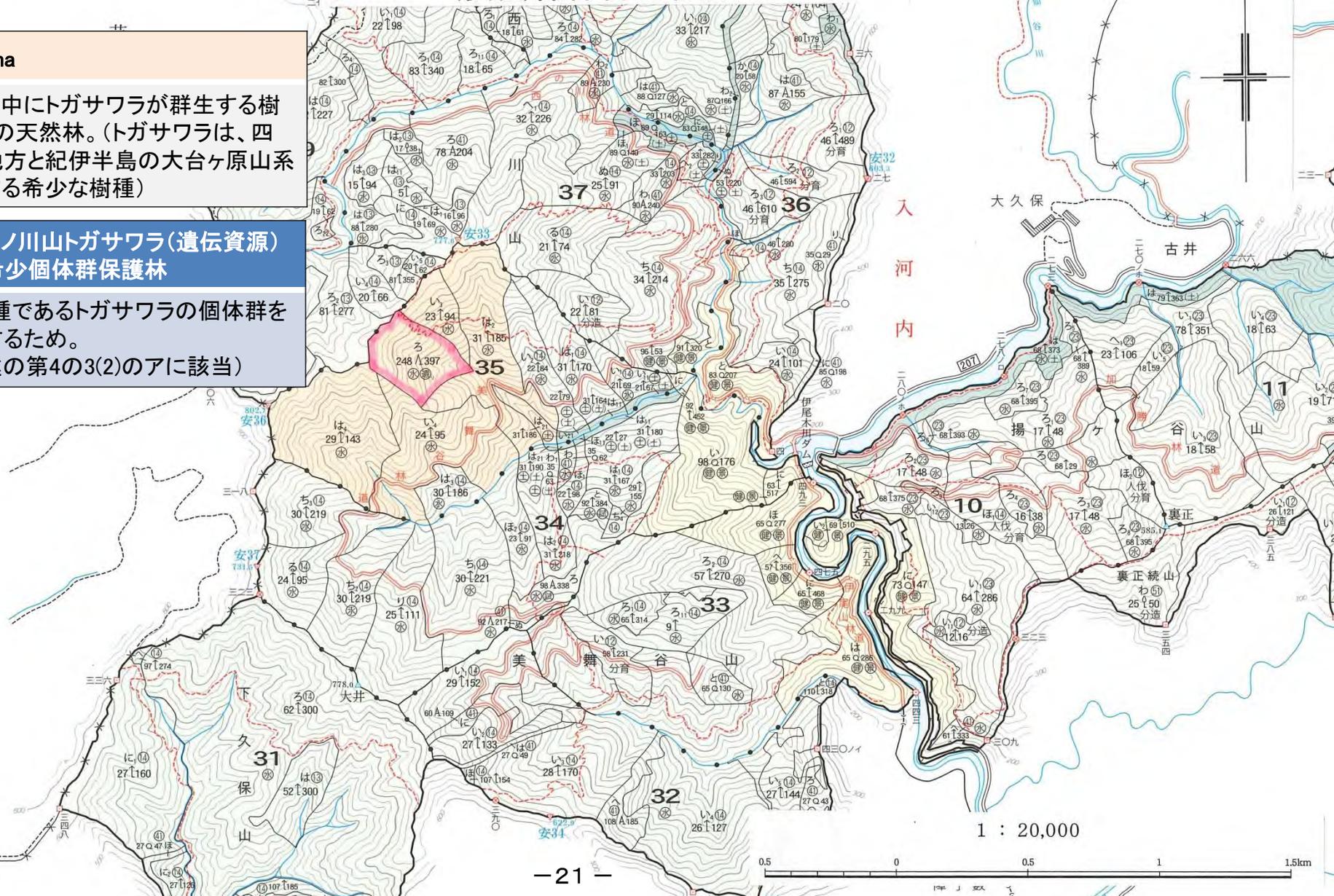
西ノ川山トガサワラ林木遺伝資源保存林 (安芸森林管理署管内)

面積：7.88ha

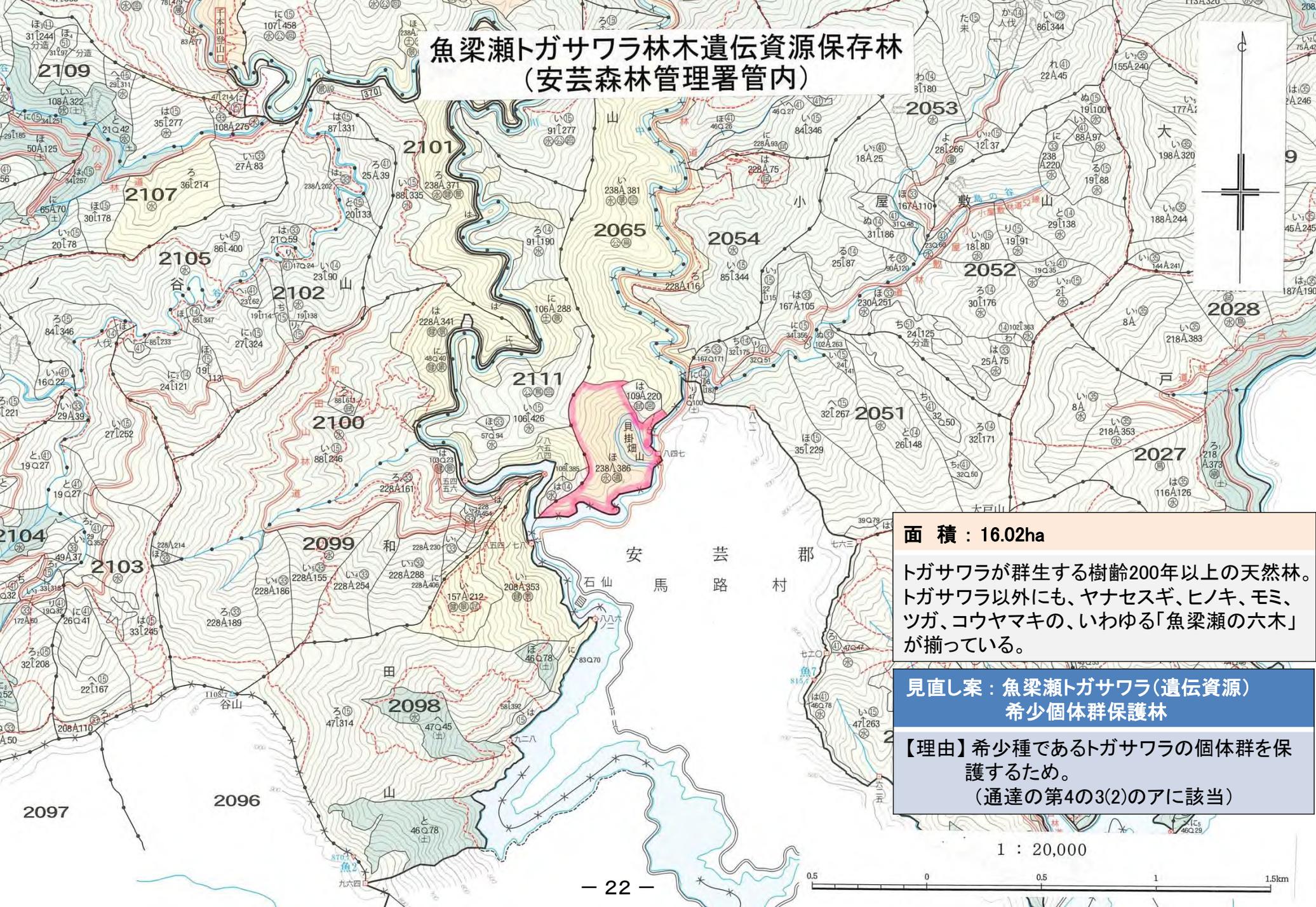
モミ・ツガ林の中にトガサワラが群生する樹齢200年以上の天然林。(トガサワラは、四国の魚梁瀬地方と紀伊半島の大台ヶ原山系にのみ自生する希少な樹種)

見直し案：西ノ川山トガサワラ(遺伝資源)
希少個体群保護林

【理由】希少種であるトガサワラの個体群を保護するため。
(通達の第4の3(2)のアに該当)



魚梁瀬トガサワラ林木遺伝資源保存林 (安芸森林管理署管内)



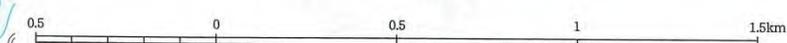
面積：16.02ha

トガサワラが群生する樹齢200年以上の天然林。
トガサワラ以外にも、ヤナセスギ、ヒノキ、モミ、
ツガ、コウヤマキの、いわゆる「魚梁瀬の六木」
が揃っている。

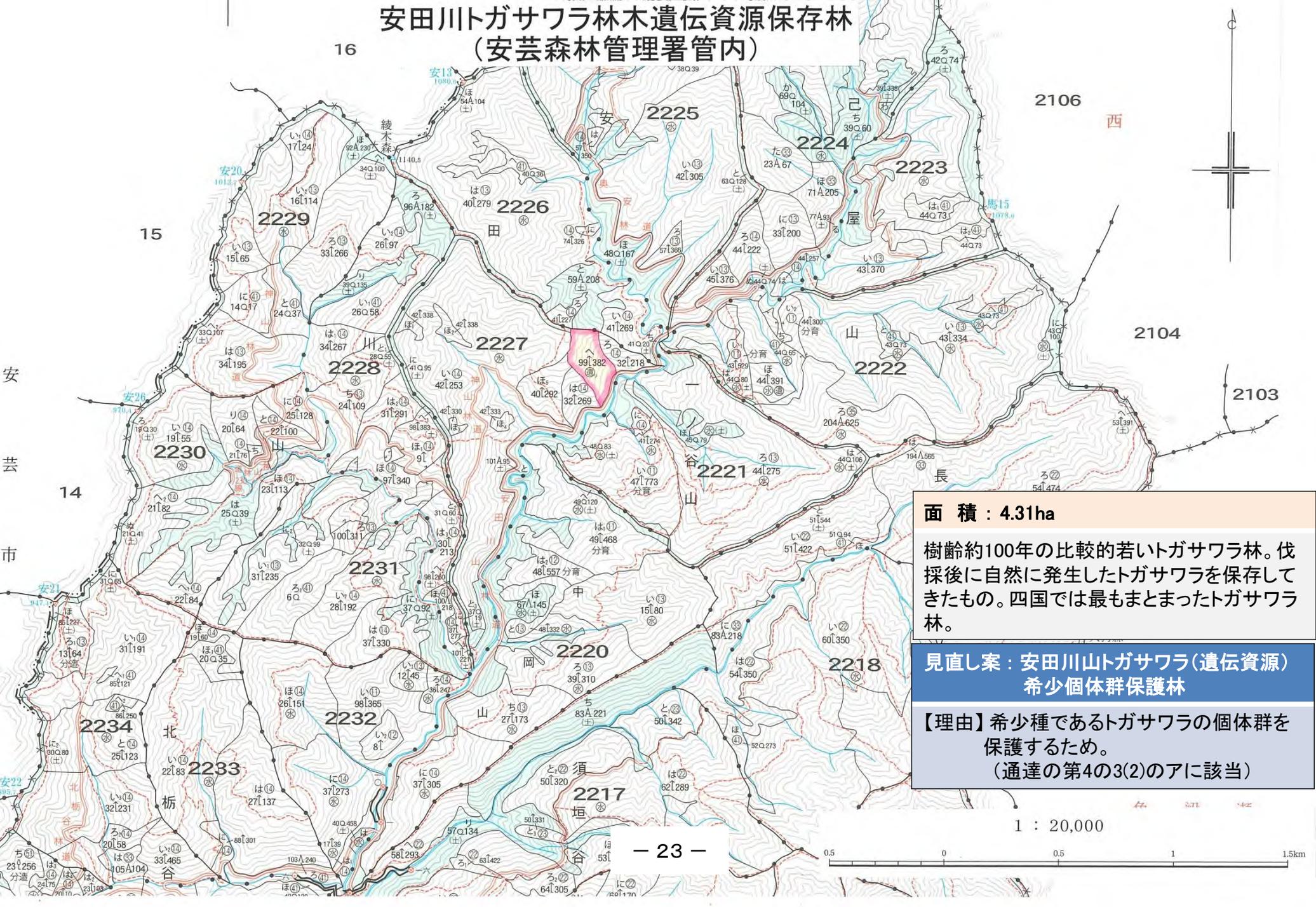
**見直し案：魚梁瀬トガサワラ(遺伝資源)
希少個体群保護林**

【理由】希少種であるトガサワラの個体群を保護するため。
(通達の第4の3(2)のアに該当)

1 : 20,000



安田川トガサワラ林木遺伝資源保存林 (安芸森林管理署管内)



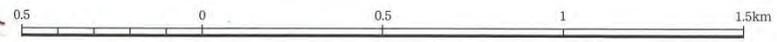
面積：4.31ha

樹齢約100年の比較的若いトガサワラ林。伐採後に自然に発生したトガサワラを保存してきたもの。四国では最もまとまったトガサワラ林。

見直し案：安田川山トガサワラ(遺伝資源)希少個体群保護林

【理由】希少種であるトガサワラの個体群を保護するため。
(通達の第4の3(2)のAに該当)

1 : 20,000



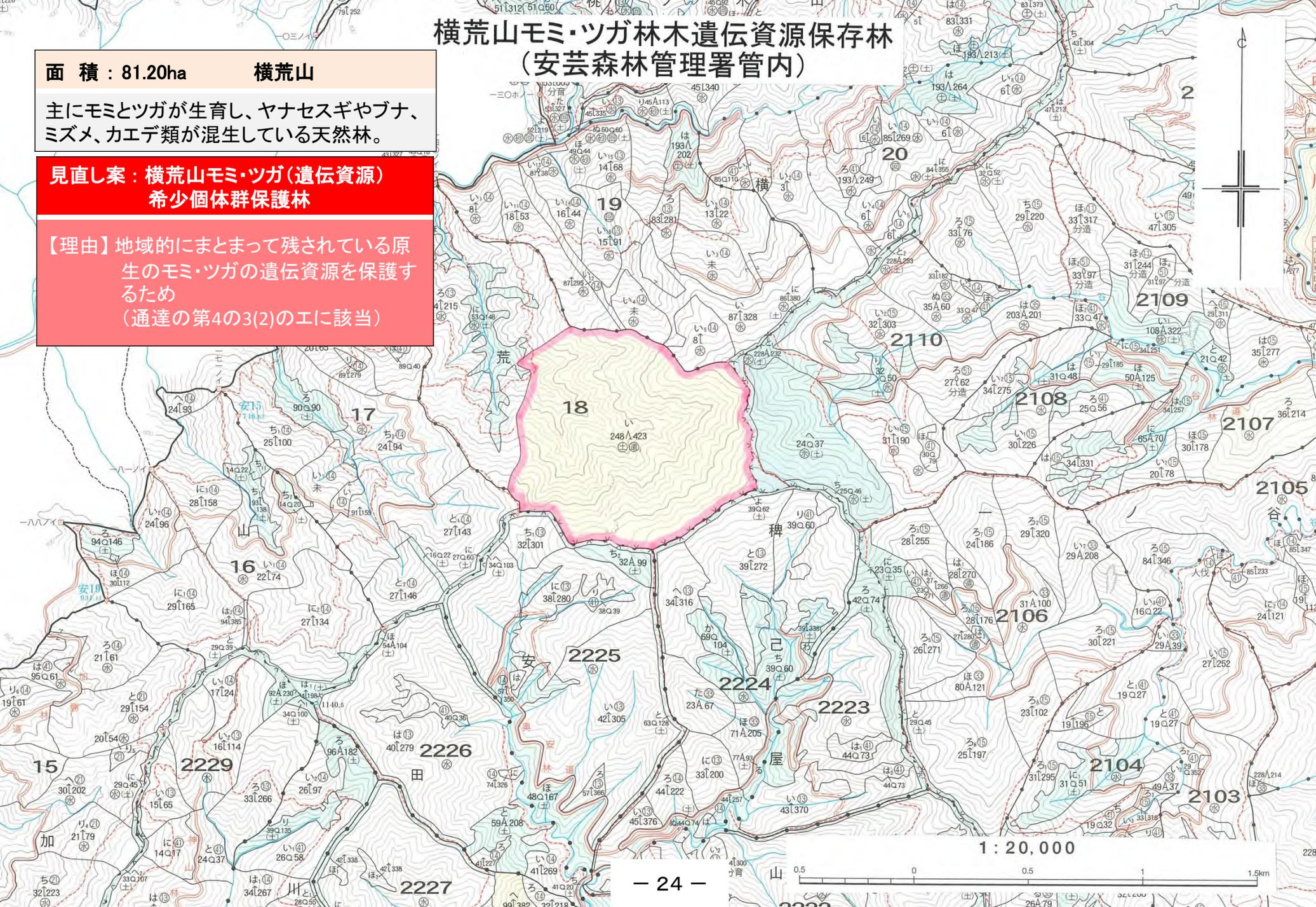
横荒山モミ・ツガ林木遺伝資源保存林 (安芸森林管理署管内)

面積：81.20ha 横荒山

主にモミとツガが生育し、ヤナセスギやブナ、ミズメ、カエデ類が混生している天然林。

**見直し案：横荒山モミ・ツガ(遺伝資源)
希少個体群保護林**

【理由】地域的にまとまって残されている原生のモミ・ツガの遺伝資源を保護するため
(通達の第4の3(2)の工に該当)



佐喜浜躍動天然杉郷土の森 (安芸森林管理署管内)

面積：18.29ha

ウラジロガシ、ツブラジイ等の常緑広葉樹林の中に、天然スギの巨木が群生している。室戸ユネスコ世界ジオパークの認定区域に含まれる。

見直し案

協定の森の方向で調整中

